

公共交通のこと  
考えてみませんか？

きづがわ

vol.

172

発行日  
令和4年  
12月1日

木津川市では、市民の皆様にとって使いやすく満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んでいます。今月号では、バス停ネーミングライツ、公共交通とエコ、年末年始のコミバス運行についてお知らせします。

# バス停ネーミングライツ(命名権)を募集しています

木津川市地域公共交通総合連携協議会では、新たな財源を確保し、利用者の利便性向上を図るため、市内を運行するコミュニティバスのバス停ネーミングライツを募集します。

持続可能な公共交通の構築のため、地域で公共交通を支えるとともに、事業者様の地域貢献活動や広告PRツールの一つとしてぜひご検討ください。

## ① 内容

- コミュニティバスのバス停副名称として企業・事業所・商店名等を掲示(右図参照)
- バス時刻表や公共交通だよりにバス停副名称を掲載
- きのつバス、かもバス当尾線の場合、車内アナウンスを追加
- 年1回程度、公共交通だよりに企業情報等を掲載

## ② バス停名の条件

- ①応募対象  
希望されるバス停に近接している企業、事業所及び商店などを応募対象とします。
- ②バス停掲載文字数  
バス停に掲載する文字数は、概ね12文字以内を目安とします。

## ③ 掲載期間

掲載開始月から3年間

## ④ 掲載料

- きのつバス・かもバス当尾線(1停留所あたり)  
バス停標柱2基以上ある場合 120,000円/年  
バス停標柱1基の場合 100,000円/年
- その他路線(各1か所)  
バス停標柱2基以上ある場合 60,000円/年  
バス停標柱1基の場合 40,000円/年

- ① 同一のバス停に複数の応募があった場合は、入札を実施します。
- ② 路線が重複しているバス停は、高い金額の掲載料を基準とします。
- ③ 各バス停の掲載料については、市ホームページをご確認ください。



## ⑤ 応募期限

令和4年12月20日(火)まで

## ⑥ 応募方法

- 次の2つの書類を下記提出先までご持参ください。
- ①木津川市コミュニティバスのバス停広告掲載申込書
  - ②会社案内やパンフレット等の業種や業務内容のわかる資料
- ◎「申込書」は市ホームページからダウンロードできます。

## ⑦ 市ホームページ

URL: <http://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,34006,13,414,html>



## ⑧ 提出先

木津川市役所 4階 学研企画課

応募についてご不明な点がございましたら、学研企画課(☎75-1201)にお問い合わせください。

## バス停ネーミングライツ協力事業所



- ①タツタ電線株式会社 タツタテクニカルセンター  
【バス停「梅美台西」・副名称「タツタテクニカルセンター前」】
- ②京都やましろ農業協同組合 木津支店  
【バス停「川原田」・副名称「JA京都やましろ木津支店前」】
- ③京都やましろ農業協同組合 加茂支店  
【バス停「加茂支所」・副名称「JA京都やましろ加茂支店前」】



## 【お願い】

10月と11月に実施しました、「市内バス無料Day」のアンケートを実施しています。今後の利用促進策検討のために、ご協力ください。

アンケートは  
コチラ



# 公共交通とエコについて

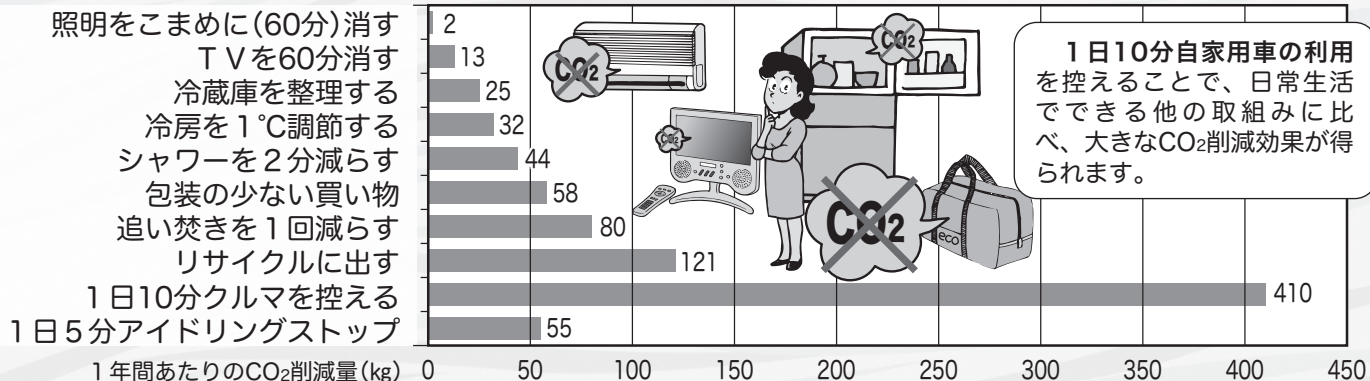


バス・タクシー・鉄道・自動車など、私たちの移動手段は様々ありますが、どの乗り物が環境に優しいかご存知ですか？

大きな問題となっている、「地球温暖化」は、温室効果ガス（主にCO<sub>2</sub>）の排出量増加が原因とされています。CO<sub>2</sub>排出量は、次の取組みで削減することが可能です。

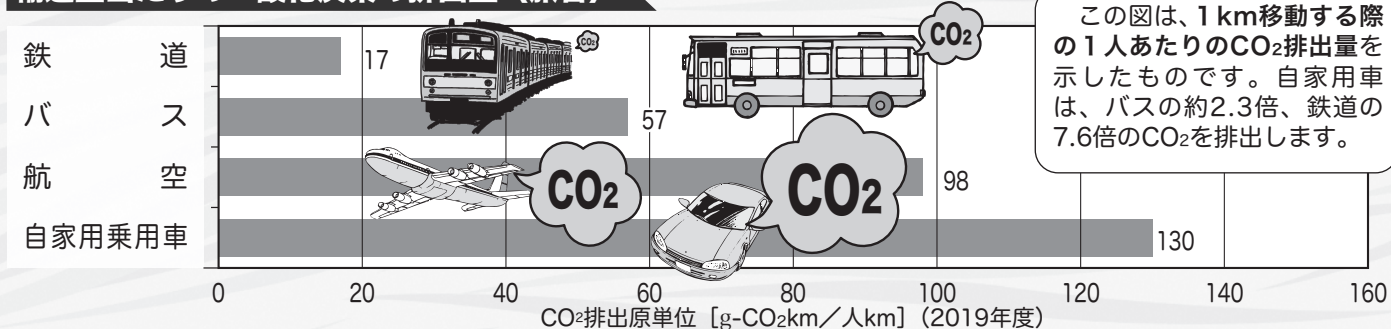
## 1世帯が1年間で削減できるCO<sub>2</sub>排出量

出典：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議  
http://www.jcomm.or.jp/



1日10分自家用車の利用を控えることで、日常生活でできる他の取組みに比べ、大きなCO<sub>2</sub>削減効果が得られます。

## 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量 (旅客)



この図は、1 km移動する際の1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量を示したものです。自家用車は、バスの約2.3倍、鉄道の7.6倍のCO<sub>2</sub>を排出します。

※温室効果ガスインベントリオフィス：「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省：「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

このように、バスや鉄道などの公共交通はとてもエコな移動手段であり、積極的な利用は、身近で効果的な地球温暖化対策です。

1人1人が、意識して公共交通を利用することが、SDGsの13番目の目標「気候変動に具体的な政策を」のゴールにつながります。

# 年末年始のコミュニティバス運行について



年末年始のコミュニティバス運行は次のとおりです。路線ごとに運行日が異なりますので、ご利用の際はご注意ください。



きのつバス

系統名	路線名	年末年始の運行について
きのつバス	木-1・2・3	12月30日～1月3日の期間 土・日・祝日のダイヤ運行
	当尾線	運休・ダイヤ変更なし(毎日運行)
かもバス	奥畑線	12月29日～1月3日運休
	加茂通学線	12月26日～1月9日運休
	山田線・大畑線・観音寺線・南加茂台線・銭司線・西線(すべて予約制)	12月29日～1月3日運休
やましるバス	山城線	12月29日～1月3日運休
	神童子線(予約制)	

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

13 気候変動に具体的な対策を



公共交通は、SDGsの17のゴールのうち、特に左の3番、11番、13番に貢献するものと考えています。

公共交通は、みなさまのご利用によって成り立っています。鉄道やコミバス等の一層のご利用をお願いします。

発行：木津川市地域公共交通総合連携協議会  
事務局：木津川市学研企画課

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9  
電話番号：0774-75-1201 (直通)  
e-mail：kikaku@city.kizugawa.lg.jp

※この用紙は「雑がみ」としてリサイクルできます。不要になったら、地域の集団回収や古紙拠点へ出してください。